

横浜型地域貢献企業プロモーション動画『株式会社大川印刷』

【株式会社大川印刷 代表取締役社長 大川 哲郎さん】

- ・私どもは1881年明治14年に創業して、来年で140周年を迎える印刷会社です。
- ・再エネ100%で環境印刷を展開する”ソーシャルプリンティングカンパニー”

「活動を始めたきっかけ」

- ・元々、印刷業界に限ったことではないと思うんですけども、時代の変化によって、事業形態を再構築しなければいけないという考え方があります。
- ・これからも地域や社会に必要とされる人と企業になっていくためにはどうしたらいいのか
- と考えた時に、地域や社会の課題解決を、本業を通じて行うべきだろうと考えました。
- ・CSR自体を企業の社会的責任・社会貢献とは訳さないで、本業を通じて地域や社会に必要とされる企業、本業を通じて社会課題解決をする”ソーシャルプリンティングカンパニー”、と掲げたんです。
- ・その後2015年にSDGsが出てきて、本業を通じて様々な課題解決をする、17のゴールに向けてあらゆる課題解決を行っていく会社になっていこう。ということでSDGsの活動を推進しております。

「社員の方の変化」

- ・かつては、印刷会社で働いていて、社員さんも、外部の方からの評価といったものに触れる機会が非常に少なかったんですね。
- ・しかしながら、今日もそうだと思うんです。こういった形で、地域や社会、行政の方からもこういう風に見ていただけるということを従業員さんも感じて、誇りと責任が生まれていると思っています。

「活動に参加して」

- 【株式会社大川印刷 品質保証部 草間 綾さん】
- ・SDGsに取り組むようになってから、広がりが狭かった世界が、SDGsを共通言語にすごく広がってきている。
- ・色々な方々から有り難いことにお声掛けいただいて、外部の方々と繋がりを持つことによって社内も変わっていく。
- ・最初は”SDGsって取っつきにくい”と思っている方々もいたんですけども、やっぱり大川印刷がSDGsに取り組むところを感じてきている。
- ・社内浸透は難しいと言われてるんですけども、あらがえない部分と、そこをどう自分たちでクリアしていこうかと。
- ・社員同士で手探りで、本当に手作り感満載なんですけど、やれるようになってきたのが、すごく良い感じだなあと感じています。

「活動で得たこと」

- 【株式会社大川印刷 製造部 佐々木 順一さん】
- ・取組を進める中で、自分が知識として全然知らなかった事があるんだなと感じた。
- ・知らないことはいいんですが、それを1人で勉強するのではなくチームで、「こういう取組があって、こういう意図があってやってるんだよ」というのを勉強することで、自分1人じゃなくて、皆で共通の目標が出てくるんです。
- ・それに向かって皆で協力しながら進んでいく。
- ・やり終わった後は達成感もありますし、団結感も感じられますし、それが嬉しいなと思います。

「これから活動を考える方へ」

- 【株式会社大川印刷 代表取締役社長 大川 哲郎さん】

- ・あまり難しく考えないで、自分たちだけじゃなくて、お客様へも、社会に対しても良い活動・良い仕事をしていくことを心がければ。1歩でも2歩でも、前進するのではないかなと思います。

「地域の方に向けて」

- ・今は企業だけでなく地域の皆さんとも、より良い未来を作っていく、活動に参画する、そのときにすごく大事な考え方がパートナーシップだと思うんです。
- ・企業だから偉いとか市民だから弱いとかっていうことではなくて、対等に、企業もNPOも市民も一緒に、このパートナーシップで様々な課題解決に取り組んでいくことができるようになると良いと思っています。
- ・ぜひ市民の皆さんとも様々な活動をしていくことができればと思っておりますので、一緒に行動してまいりましょう。